



西野だいすけ通信

第10号（再出発・活動報告編）

皆さま、こんにちは。西野だいすけです。「西野だいすけ通信」を手にとっていただき、ありがとうございます。

今回は、再出発・活動報告編として、最近の活動についてご報告するとともに、今後の活動に向けて、変わらぬ覚悟を申し上げます。

- ◆ 昭和53年生まれ 39歳
- ◆ 熊本生まれ、熊本育ち
飽田町（現・熊本市南区）出身
藤園中学校／熊本高校 卒業
- ◆ 東京大学 法学部 卒業
- ◆ 元 財務省 主計局主査
- ◆ 第48回衆議院議員総選挙候補者
※熊本2区で**62,575票**を得るも、**落選**

1. 活動報告

(1) 西野だいすけの何でも挑戦してみよう！

政治家が、官僚と決定的に違うのは、有権者の皆さまと直接つながることによって、現場そのものや生の声を知ることができることだと思います。私は、いくつになっても、仮に、当選を重ねても、現場に足を運び、有権者の皆さまと直接つながっている政治家になりたい。そう強く思っています。

その一環として、この落選期間を活用して、様々なことに挑戦し、現場を経験したいと考えております。例えば、海苔、みかん、トマトといった熊本が誇る農産物の生産の現場を体験したいと思います。また、保育園や介護施設でのお手伝いも経験させていただきたいと思います。

【第1弾】海苔養殖の片付け

3月某日、早朝から、海苔養殖の片付けを経験させていただきました。

一言で感想を申し上げれば、「本当に大変」ということに尽きます。

まず、早起きが大変です。次に、船出の前に、完全防備に着替えるのも、一苦勞です。素人は、着替えにかなりの時間と労力が必要です。この時点で、先が思いやられました・・・（汗）

そして、もちろん、作業の本番が一番大変です。今



↑海苔の網揚げの様子（上3枚と左）

↓海苔のブロック揚げの様子（下3枚）

討議資料

西野だいすけ通信 第10号

平成30年 8月発行

熊本事務所：熊本市南区田迎5-1-30

(TEL) 096-379-6079

玉名事務所：玉名市中1675-1

Email：info@daisukenishino.com

URL：http://daisukenishino.com

西野だいすけの選挙区（熊本2区）

熊本市（西区・南区）、荒尾市、玉名市、玉名郡（玉東町、和水町、南関町、長洲町）

回は、片付け作業のうち、ほんの一部、網揚げとブロック揚げのお手伝いをしましたが、数日間、ひどい筋肉痛に悩まされました。写真では、簡単そうに見えるかもしれませんが、本当に大変。波がある中、船の上に立つだけでも大変。網を引っ張ったり、ブロックを引き上げたり、力とコツが必要です。

海苔の生産過程の一端を勉強させていただきただけではなく、海苔を生産するのに、どれだけの苦労があるのか、肌で感じ、とてもいい勉強になりました。やはり、現場を知ること、現場の苦労の一端にでも触れてみることは、非常に重要なことだと感じました。

次は、養殖の準備や収穫にも挑戦したいと思います。

【第2弾】保育士、一日体験

4月某日、友人が運営する保育園で、一日保育士として、お世話になりました。

朝一から、エネルギー全開の子供たちに、振り回されっぱなしでした(笑)

保育士の皆さまのご苦労の一端を体感するだけでなく、お昼寝の時間などを利用して、保育士一人当たりの幼児数など、保育をめぐる課題や、保育園が認可を得るまでのご苦労など、運営面でも、生の声を聞かせていただいて、大変勉強になりました。

子供たちは、本当に可愛いです。とは言え、責任をもって、命を預かることは、気力面も体力面も本当に大変です。保育に携わる皆さまへの感謝と尊敬の念が深まった一日でした。

ちなみに、子供たちが想像以上に、なついてくれたおかげで、おんぶもだっこも頑張りました。その後数日間、筋肉痛だったことは、申し上げるまでもありません(笑)



↑一日保育士に挑戦している様子(上6枚)



←ゼンリン地図を片手に、一軒一軒ご挨拶する間の様子(左2枚)

西野だいすけニュース④【励ます会開催】

3月11日に熊本市内で、7月21日には玉名市内で「西野だいすけを励ます会」を開催していただきました。両者とも650名を上回る多くの皆さまにお越しいただき、大いに盛り上げていただきました。また、玉名での会には、私の師匠でもある古賀誠先生にお越しいただき、激励のお言葉を頂きました。本当に、ありがたいことでございます。

↓上から順に

- ・高橋稲荷の初午にて餅投げに挑戦している様子
- ・白川河川敷で大凧揚げに挑戦している様子
- ・横島イチゴマラソンの弁当詰めのお手伝いの様子



↓谷尾崎の梅祭でカラオケに挑戦する様子(下) ←田迎南校区で餅つきに挑戦する様子(左)



(2) 西野だいすけの話を聞いてみよう！

「だいすけ君が、財務省時代、どんな仕事ばしよったか聞いてみたい」「財務省が、どがんとか、知りたか」というご要望を、多く頂いております。そこで、ご要望にお応えして、年明け以降、「西野だいすけの話を聞いてみよう！」と題し、予算編成や国税局出向時代、財務省の幹部候補生の採用などについて、話をさせていただきます。今後も、ミニ集会形式で、選挙区内のあちこちで、開催していきたいと思っています。堅苦しい話ではなく、財務省の裏話も交えつつ、お話しさせていただきますので、「私の会社や地域でも、話をしてほしい」という方がいらっしゃいましたら、是非、事務所までご連絡いただければと思います。よろしくお祈りします。

(3) 日常の活動について

朝は、辻立ち。日中は、一軒一軒の挨拶回りや後援会立上げの準備。夜は、各種、懇親会。毎日毎日、ただ、ひたすら、その繰り返しでございます。

私が、辻立ちしているところを、見かけられたなら、是非、手を振っていただければありがたいです。大きな励みとなります。でも、運転には気を付けてくださいね。

一軒一軒の挨拶回りにも力を入れております。選挙区内16万世帯ございます。できるだけ多く回りたいと思います。訪問件数もぐいぐい伸びてきました。突然お邪魔するかと思いますが、温かくお迎えいただければありがたいです。

各地で後援会を立上げるため、役員就任のお願いも進めています。西野だいすけの政治活動を支えていただいているのは、皆さまお一人お一人です。役員を選任など、後援会の立上げにもご協力ください。

おかげさまで、お酒の席にも、多数、お招きいただいております。「西野だいすけと酒飲みながら、じっくり話をしてみたい」という方がいらっしゃいましたら、是非、ご連絡いただければありがたいです。よろしくお祈りします。



2. 変わらぬ覚悟

昨秋の選挙から早くも10か月が経過いたしました。10か月を経てもなお、落選したという現実を強く感じる場面があります。落選直後は、応援して下さった皆さまへの申し訳なさが頭を支配していましたが、今は、今後の不安と自分への情けなさを感じることも増えてきました。例えば、夜、寝る前、「こんな生活がいつまで続くんだろうか？緊張しっぱなしで、落ち着く暇もない生活が、いつまで続くんだろうか？この努力は報われるんだろうか？事務所の運営は、次の選挙まで大丈夫だろうか？」そう考えて、眠れない夜もあります。例えば、東京に行ったとき、同世代で既に国政の場で活躍している議員を見ると、まぶしく見えますし、自分が情けなくなります。

それでも、私は、前に進みます。

日本の未来のために、誰かが覚悟を決めて、多くの課題に向き合っていかなければ、日本の繁栄を維持し続けることはできない、という強い危機感があるからです。現在の日本は、世界有数の経済大国として、繁栄を謳歌しておりますが、ただ指をくわえて何もせずに傍観したままでは、未来永劫、繁栄が続くなんてことはあり得ません。繁栄の礎となっている平和にしろ、治安にしろ、教育にしろ、社会保障にしろ、財政にしろ、様々な方面での努力の積み重ねによって、はじめて維持できるのだと思います。熊本のことにしてもそうです。私は、若い力あふれる熊本を創っていきたい。熊本は、出生率は、悪くありません。平均1.68、全国47都道府県で5番目の高い水準です。それでも、若い人たちの人口流出に歯止めがかからず、年間1万人のペースで人口減少が進んでいます。私は、この状況を打破し、若い人たちが熊本でも存分に活躍できるような環境を創っていくことが重要だと思っています。こうした課題に、誰かが取り組んでいかなければいけない。私は、この日本に育てていただいたと思っています。熊本の皆さまに育てて頂いたと思っています。そうであれば、人生を懸けて、日本の未来を創るため、挑戦する責任があると信じています。

時間が過ぎるのを待てば、機械的に新しい時代は訪れるのかもしれませんが、でも、それでは、時間を浪費することになってしまいます。1年2年あるいは5年10年、時間を無駄にしてしまうかもしれません。私は、挑戦したい。新しい時代を切り開く、そのために、挑戦したい。みんなの思いを、力を結集して、挑戦したい。ただただ、指をくわえて、時代の歯車が回るのを待つのではなく、自分たちの手で、私たちの手で、新しい時代の扉をこじ開けたい。そう強く思います。

サッカーワールドカップ、日本代表の本田圭佑選手が、こんなことを言っていました。「日本代表としてプレーする選手は、一つの例外もなく、皆さまが想像もできないような、血のにじむような努力をして、この舞台に立っている。苦しい練習を乗り越えるだけじゃない。結果が伴わなくて、惨めな思いをすることもあれば、心無い批判や中傷にさらされることもある。そんな困難を乗り越えて、今、ここに立っているんだ」と。そんな努力に比べれば、私なんかはまだまだです。それでも、次の戦いに向けて、どんな苦勞も困難も乗り越えていく覚悟です。

私は、何度でも訴えます。100回でダメなら、101回。1万回でダメなら、1万1回。力の限り、訴えます。新しい時代を切り開くべく、私の持てる全てを、全人格をかけて、挑戦を続けます。皆さまからの引き続きのご支援、よろしくお願い申し上げます。

西野太亮



西野 だいすけ プロフィール

昭和53年9月22日、熊本県飽託郡飽田町砂原（現・熊本市南区砂原町）生まれ。飽田東保育園卒園、熊本市立城東小学校、藤園中学校、熊本県立熊本高校、東京大学法学部卒業。平成15年財務省入省。米国コロンビア大学公共政策大学院修了後、大臣官房秘書課課長補佐、復興庁参事官補佐、主計局主査などを経て、平成28年4月、財務省退官。平成29年10月、第48回衆議院議員総選挙に熊本2区から出馬。62,575票を得るも、落選。現在、次なる戦いに向けて、精力的に活動中。